

校内研究だより⑯

令和7年度
発行日
11/25(火)
発行者:野村

算数の「自立」と「助け合い」

「遊び」と「学習」の架け橋

「学ぶこと」は、幼稚園や保育園での「これやってみたい！」という**遊びの延長線上**にあります。今回の1年生の授業実践では、それが見られました。



大人の世界では「早く正確に答えを出すこと」が大切ですが、子どもの「学び観」は、「自分で選ぶ楽しさ」や「分かったときのひらめき」にあります。

この根源的な**「やりたい」という意欲**こそが、**成長のエネルギー**です。



自分で選ぶ！「自由進度学習3回目」の成果

【自立】 自自分で学習の進め方を選び、意欲的に取り組めています。

【協働】 友達と教え合ったり、一緒に進めることで、お互いに学びを高めています。

【計画】 分かりやすい学習の手引きや計画表を活用し、見通しを持って活動できています。

【理解】 ブロック操作や計算カードなど、自分に合った方法で学び、既習事項がしっかりと定着しています。



「子どもの主体性」を支える

右の写真は、3組の単元のゴールである子どもたちの「～したい！」がつまった成果物です。この気持ちを**6年生まで大切にしていくことで成長が大きく促進される**と考えます。



今回、那覇教育事務所の新城喬之指導主事補を招聘し、指導助言をいただいたことで、より充実した研究会となりました。

ご家庭での会話が、学校での学びをさらに深めます。学校とご家庭が連携し、**子どもたちの「できた！」という喜び**を増やしていきましょう。